

ちば



「チーバくん」

令和8年度

栄養教諭2年目研修

研修の手引

千葉県教育委員会

栄養教諭 2 年目研修実施要項

1 目的

この研修は、千葉県（千葉市・船橋市・柏市を除く。以下同じ）の公立小学校、中学校、義務教育学校及び特別支援学校の 2 年目の栄養教諭を対象に、幅広い知見を得させるとともに、対象者一人ひとりの能力向上を目的とする。

2 主催

千葉県教育委員会

3 対象者

栄養教諭のうち、原則として栄養教諭初任者研修を修了した経験 2 年目の者とする。（新規採用栄養教諭・任用替え栄養教諭対象）

※ 千葉市、船橋市及び柏市とは、各市との確認書等に基づき研修を共同で実施するので、これらの市立学校等で上記に該当する者も対象者とする。

4 参加者の報告

県立学校の研修参加者及び、市町村の研修参加者は研修履歴システムにより、本研修の受講登録を行うことで、報告に代える。（千葉市についても同様である。）

5 研修内容

千葉県・千葉市教員等育成指標（以下「育成指標」という）及び千葉県教職員研修体系）に基づき、研修の内容を次のとおりとする。（別紙 2 参照）

（1）校外研修 2 日（別紙 1 参照）

保健体育課の企画・運営により、2 日実施する。

（2）校内研修 5 時間以上

ア 各自が主体的に計画し、授業研究等を含んだ内容で、校内で実施する。

イ 教科等における食に関する指導（授業研修）は 1 回以上、必ず実施する。

ウ 主体的に校外で実施している研修に参加することも含める。

6 校外研修の旅費

校外研修に参加する栄養教諭等の旅費は、県立学校にあつては該当学校に令達するものとし、旅費システムにて執行する。また、市町村立の学校にあつては所管の教育事務所へ別途令達する。

7 校内研修年間計画書の作成及び報告

校長は、栄養教諭の能力や個性に応じた研修計画案を第1号様式にて作成し、「提出書類一覧」（別紙3・4）に基づき報告する。

8 校内研修年間報告書の作成及び提出

校長は、「校内研修年間計画書」（第1号様式）に基づく研修が終了した後に、当該研修について、「校内研修年間報告書」（第2号様式）を作成し、実施した授業研究の指導案とともに、「提出書類一覧」（別紙3・4）に従い報告する。

9 その他

この要項に定めるもののほか、栄養教諭2年目研修の実施に関し必要な事項は関係者が協議した上でこれを定める。

令和8年度 校外研修年間計画(案)

回	月	日	時間	主 題・内 容	講 師・助言者	会場等
第1回	9	25 金	13:00～ 13:30	<受付>		総合教育センター C311
			13:30～ 13:40	<オリエンテーション>	教育振興部保健体育課 指導主事	
			13:40～ 16:00	<講話・演習>A1, B6, B7, B8 個別的な相談指導の実際	教育振興部保健体育課 指導主事	
			16:00～ 16:10	<連絡・まとめ>	教育振興部保健体育課 指導主事	
第2回	1	26 火	9:00～ 9:20	<受付>		総合教育センター C303
			9:20～ 9:30	<オリエンテーション>	教育振興部保健体育課 指導主事	
			9:30～ 15:50	<講話・協議> D15 研究授業及び課題研究についての実践発表		
			15:50～ 16:00	<連絡>		

※詳細については、後日通知いたします。

※日程変更等あった場合は、通知いたします。

栄養教諭の資質向上に関する指標

六つの柱	構成要素	養成段階	千葉県・千葉市が求める教員像	ステージⅠ 【成長期】 (給食管理、食に関する指導等) 栄養教諭としての 自覚と資質能力の向上	ステージⅡ 【発展期】 (給食管理、校務分掌等の ミドルリーダー) ミドルリーダーとしての 自覚と資質能力の向上	ステージⅢ 【充実期】 (学校運営等、職員全体及び地域の栄養教諭 へ指導・助言) チーム学校をリードする 自覚と資質能力の向上
				<p>使命感 責任感 教育的愛情 高い倫理観 コンプライアンス 服務規律の遵守</p> <p>社会性 コミュニケーション能力</p> <p>社会の変化への対応 広い視野 学び続ける意欲</p> <p>教職に関する教養</p>	<p>教職の意義 教員の役割 教職への意欲 課せられる義務等</p> <p>広い視野 教養等を学び続ける意欲 コミュニケーション能力</p> <p>教育の理念、歴史、思想 社会的・制度的・経営的事項等 について基礎的知識(選択)</p>	<p>使命感 責任感 教育的愛情 高い倫理観 コンプライアンス 服務規律の遵守</p> <p>社会性 コミュニケーション能力</p> <p>社会の変化への対応 広い視野 学び続ける意欲</p> <p>教職に関する教養</p>
<p>教科等における食に関する指導</p> <p>給食の時間における食に関する指導</p> <p>個別的な相談指導</p> <p>栄養管理</p> <p>衛生管理</p>	<p>学習指導要領に示された教科領域の目標、ねらい、内容に応じた食に関する指導技術 食育の視点</p> <p>給食指導の指導技術 食に関する指導の指導技術</p> <p>栄養学の知識に基づいた対応 想定される相談指導の理解</p> <p>学校給食実施基準等法令に対する正しい理解 栄養管理と食育の連携</p> <p>学校給食衛生管理基準等法令に基づいた学校給食の衛生管理に対する正しい理解 衛生管理と指導の連携</p>	<p>学習指導要領に示された教科領域の目標、ねらい、内容に応じた食に関する指導技術 食育の視点</p> <p>給食指導の指導技術 食に関する指導の指導技術</p> <p>栄養学の知識に基づいた対応 想定される相談指導の理解</p> <p>学校給食実施基準等法令に対する正しい理解 栄養管理と食育の連携</p> <p>学校給食衛生管理基準等法令に基づいた学校給食の衛生管理に対する正しい理解 衛生管理と指導の連携</p>	<p>○人間性豊かで、教育愛と使命感に満ちた教員</p> <p>○高い倫理観を持ち、心身共に健康で、明朗、快活な教員</p>	<p>各教科等においてそれぞれの特質に応じた見方・考え方を働かせながら、当該教科の目標や内容を身に付けさせることを第一義的に考え、その過程に食育の視点を位置付け、目標がよりよく達成されるための専門的知識を身に付けている。</p> <p>心身の健全な発達に資する学校給食について、子供たちが食事に関心を持ち、食に関する正しい理解と適切な判断力を養うために計画的・継続的な指導を実践している。</p> <p>栄養学等の専門的知識に基づき、偏食や肥満・痩身、食物アレルギー、運動、食行動の問題など食に関する健康課題を有する子供に対して、関係する教職員や専門職、保護者と連携して個別的な相談指導に取り組んでいる。</p> <p>学校給食実施基準の内容を正確に理解し、学校給食摂取基準や食品構成に配慮した献立を作成し、食事内容の充実に努め、適切に栄養管理をするとともに、教職員との連携や家庭への情報発信により、日常又は将来の食生活全体の改善を促している。</p> <p>学校給食衛生管理基準の内容を正確に理解し、衛生管理責任者として、安全な給食の実施のために、衛生管理に関する共通理解を図るとともに、適切な管理及び指導・助言を行い調理員や教職員等と連携を図っている。</p>	<p>豊かな人間性や人権意識を持ち、他の教職員や子供、保護者、地域住民等と、自らの意見も効果的に伝えつつ、円滑なコミュニケーションを取り、良好な人間関係を構築している。</p> <p>教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて探求心を持ちつつ自律的かつ継続的に新しい知識・技能を学び続けている。</p> <p>教育に関し、社会的・制度的事項やその意義、歴史等について理解するとともに、最新の動向に関し情報を収集している。</p> <p>各教科等においてそれぞれの特質に応じた見方・考え方を働かせながら、当該教科の目標や内容を身に付けさせることを第一義的に考え、その過程に食育の視点を位置付け、目標がよりよく達成されるための専門的知識を身に付けている。</p> <p>心身の健全な発達に資する学校給食について、子供たちが食事に関心を持ち、食に関する正しい理解と適切な判断力を養うために計画的・継続的な指導を実践している。</p> <p>栄養学等の専門的知識に基づき、偏食や肥満・痩身、食物アレルギー、運動、食行動の問題など食に関する健康課題を有する子供に対して、関係する教職員や専門職、保護者と連携して個別的な相談指導に取り組んでいる。</p> <p>学校給食実施基準の内容を正確に理解し、学校給食摂取基準や食品構成に配慮した献立を作成し、食事内容の充実に努め、適切に栄養管理をするとともに、教職員との連携や家庭への情報発信により、日常又は将来の食生活全体の改善を促している。</p> <p>学校給食衛生管理基準の内容を正確に理解し、衛生管理責任者として、安全な給食の実施のために、衛生管理に関する共通理解を図るとともに、適切な管理及び指導・助言を行い調理員や教職員等と連携を図っている。</p>	<p>○人間性豊かで、教育愛と使命感に満ちた教員</p> <p>○高い倫理観を持ち、心身共に健康で、明朗、快活な教員</p>
<p>子供の発達過程や特徴の理解と信頼関係の構築 教育相談及び生徒指導 個別指導</p> <p>人権教育の推進 生徒指導上の課題への対応</p>	<p>子供の心身の発達の過程、特徴 学校における教育相談の意義、理論及び進め方 生徒指導の意義</p> <p>人権教育の理念 理念に基づく、いじめ等の生徒指導上の課題に対する適切な対応の在り方</p>	<p>子供の心身の発達の過程、特徴 学校における教育相談の意義、理論及び進め方 生徒指導の意義</p> <p>人権教育の理念 理念に基づく、いじめ等の生徒指導上の課題に対する適切な対応の在り方</p>	<p>○幅広い教養と学習指導の専門性を身に付けた教員</p> <p>○幼児児童生徒の成長と発達を理解し、悩みや思いを受け止め、支援できる教員</p>	<p>子供の心身の発達の過程や特徴を理解し、子供との信頼関係を構築するとともに、学校の教育活動全体を通じて、子供が自分らしい生き方を実現するための力を専門的な立場から育成している。教育相談や生徒指導の意義や理論を理解し、子供一人一人の課題の解決に向け、個々の悩みや思いを共感的に受け止め、学校生活への適応や人格の成長への支援をしている。</p> <p>人権教育の理念のもと、いじめ、不登校、情報モラル等生徒指導上の課題に対し、他の教職員、保護者、関係機関等との連携を図りながら、子供に対し適切に指導している。</p> <p>カリキュラム・マネジメントの意義を理解し、食育の教科等横断的な視点や教育課程の評価、人的・物的な体制の確保・改善等の観点を持って、組織的かつ計画的に教育課程を編成・実施し、常に学校の実態に応じた改善をしている。</p>	<p>豊かな人間性や人権意識を持ち、他の教職員や子供、保護者、地域住民等と、自らの意見も効果的に伝えつつ、円滑なコミュニケーションを取り、良好な人間関係を構築している。</p> <p>教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて探求心を持ちつつ自律的かつ継続的に新しい知識・技能を学び続けている。</p> <p>教育に関し、社会的・制度的事項やその意義、歴史等について理解するとともに、最新の動向に関し情報を収集している。</p> <p>各教科等においてそれぞれの特質に応じた見方・考え方を働かせながら、当該教科の目標や内容を身に付けさせることを第一義的に考え、その過程に食育の視点を位置付け、目標がよりよく達成されるための専門的知識を身に付けている。</p> <p>心身の健全な発達に資する学校給食について、子供たちが食事に関心を持ち、食に関する正しい理解と適切な判断力を養うために計画的・継続的な指導を実践している。</p> <p>栄養学等の専門的知識に基づき、偏食や肥満・痩身、食物アレルギー、運動、食行動の問題など食に関する健康課題を有する子供に対して、関係する教職員や専門職、保護者と連携して個別的な相談指導に取り組んでいる。</p> <p>学校給食実施基準の内容を正確に理解し、学校給食摂取基準や食品構成に配慮した献立を作成し、食事内容の充実に努め、適切に栄養管理をするとともに、教職員との連携や家庭への情報発信により、日常又は将来の食生活全体の改善を促している。</p> <p>学校給食衛生管理基準の内容を正確に理解し、衛生管理責任者として、安全な給食の実施のために、衛生管理に関する共通理解を図るとともに、適切な管理及び指導・助言を行い調理員や教職員等と連携を図っている。</p>	<p>○幅広い教養と学習指導の専門性を身に付けた教員</p> <p>○幼児児童生徒の成長と発達を理解し、悩みや思いを受け止め、支援できる教員</p>
<p>教育課程の管理・運用</p> <p>校務分掌と連携・調整</p> <p>家庭や地域、関係機関等との連携・協働</p> <p>研修(研究)体制</p>	<p>各学校で編成される教育課程についての意義及び編成の方法 各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義</p> <p>校内組織や公務分掌の理解 食育推進の役割</p> <p>取組事例を踏まえた家庭・地域との連携、協働の仕方 学校内外の関係機関との連携、分担して対応することの必要性</p> <p>研究と修養の必要性 資質能力の向上の必要性</p>	<p>各学校で編成される教育課程についての意義及び編成の方法 各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義</p> <p>校内組織や公務分掌の理解 食育推進の役割</p> <p>取組事例を踏まえた家庭・地域との連携、協働の仕方 学校内外の関係機関との連携、分担して対応することの必要性</p> <p>研究と修養の必要性 資質能力の向上の必要性</p>	<p>○組織の一員としての責任感と協調性を持ち、互いに高め合う教員</p>	<p>カリキュラム・マネジメントの意義を理解し、食育の教科等横断的な視点や教育課程の評価、人的・物的な体制の確保・改善等の観点を持って、組織的かつ計画的に教育課程を編成・実施し、常に学校の実態に応じた改善をしている。</p> <p>学校組織マネジメントの意義を理解した上で、学校における食育推進や学校給食管理の中心的な役割を担い、学校運営の持続的な改善を支えられるよう、校務に積極的に参画し組織の中で自らの役割を果たしている。</p> <p>家庭や地域、就学前から高等教育までを通じた異校種間、関係機関との連携・協働に努め、地域とともに食育の推進に取り組んでいる。</p> <p>研修履歴の記録を基に、自らの学びを振り返り、研修(研究)における成果と課題を把握するとともに、教員としての資質能力の向上を図るために必要な研究と修養に努めている。また、校内研修を教員同士の学び合いの機会として捉え、積極的に参加している。</p>	<p>豊かな人間性や人権意識を持ち、他の教職員や子供、保護者、地域住民等と、自らの意見も効果的に伝えつつ、円滑なコミュニケーションを取り、良好な人間関係を構築している。</p> <p>教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて探求心を持ちつつ自律的かつ継続的に新しい知識・技能を学び続けている。</p> <p>教育に関し、社会的・制度的事項やその意義、歴史等について理解するとともに、最新の動向に関し情報を収集している。</p> <p>各教科等においてそれぞれの特質に応じた見方・考え方を働かせながら、当該教科の目標や内容を身に付けさせることを第一義的に考え、その過程に食育の視点を位置付け、目標がよりよく達成されるための専門的知識を身に付けている。</p> <p>心身の健全な発達に資する学校給食について、子供たちが食事に関心を持ち、食に関する正しい理解と適切な判断力を養うために計画的・継続的な指導を実践している。</p> <p>栄養学等の専門的知識に基づき、偏食や肥満・痩身、食物アレルギー、運動、食行動の問題など食に関する健康課題を有する子供に対して、関係する教職員や専門職、保護者と連携して個別的な相談指導に取り組んでいる。</p> <p>学校給食実施基準の内容を正確に理解し、学校給食摂取基準や食品構成に配慮した献立を作成し、食事内容の充実に努め、適切に栄養管理をするとともに、教職員との連携や家庭への情報発信により、日常又は将来の食生活全体の改善を促している。</p> <p>学校給食衛生管理基準の内容を正確に理解し、衛生管理責任者として、安全な給食の実施のために、衛生管理に関する共通理解を図るとともに、適切な管理及び指導・助言を行い調理員や教職員等と連携を図っている。</p>	<p>○組織の一員としての責任感と協調性を持ち、互いに高め合う教員</p>
<p>特別な配慮や支援を必要とする子供の理解</p> <p>学習上・生活上の支援</p>	<p>特別な配慮や支援を必要とする子供の特性及び発達の理解</p> <p>学習上の支援の方法と生活上の支援の方法</p>	<p>特別な配慮や支援を必要とする子供の特性及び発達の理解</p> <p>学習上の支援の方法と生活上の支援の方法</p>	<p>○特別な配慮や支援を必要とする子供の理解</p>	<p>特別な配慮や支援を必要とする子供の特性等を理解し、きめ細かく支援するために、子供一人一人の教育的ニーズや子供の特性、食事の状況を把握している。</p> <p>保護者や他の教職員、関係機関等と連携しながら、特別な配慮や支援を必要とする子供の教育課程の編成について適切に対応し、誰一人取り残すことのない個別最適な学びの実現を図っている。また、状況に応じた生活上の支援を工夫している。</p>	<p>豊かな人間性や人権意識を持ち、他の教職員や子供、保護者、地域住民等と、自らの意見も効果的に伝えつつ、円滑なコミュニケーションを取り、良好な人間関係を構築している。</p> <p>教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて探求心を持ちつつ自律的かつ継続的に新しい知識・技能を学び続けている。</p> <p>教育に関し、社会的・制度的事項やその意義、歴史等について理解するとともに、最新の動向に関し情報を収集している。</p> <p>各教科等においてそれぞれの特質に応じた見方・考え方を働かせながら、当該教科の目標や内容を身に付けさせることを第一義的に考え、その過程に食育の視点を位置付け、目標がよりよく達成されるための専門的知識を身に付けている。</p> <p>心身の健全な発達に資する学校給食について、子供たちが食事に関心を持ち、食に関する正しい理解と適切な判断力を養うために計画的・継続的な指導を実践している。</p> <p>栄養学等の専門的知識に基づき、偏食や肥満・痩身、食物アレルギー、運動、食行動の問題など食に関する健康課題を有する子供に対して、関係する教職員や専門職、保護者と連携して個別的な相談指導に取り組んでいる。</p> <p>学校給食実施基準の内容を正確に理解し、学校給食摂取基準や食品構成に配慮した献立を作成し、食事内容の充実に努め、適切に栄養管理をするとともに、教職員との連携や家庭への情報発信により、日常又は将来の食生活全体の改善を促している。</p> <p>学校給食衛生管理基準の内容を正確に理解し、衛生管理責任者として、安全な給食の実施のために、衛生管理に関する共通理解を図るとともに、適切な管理及び指導・助言を行い調理員や教職員等と連携を図っている。</p>	<p>○特別な配慮や支援を必要とする子供の理解</p>
<p>ICTや情報・教育データの活用</p> <p>ICTによる校務効率化</p>	<p>情報活用能力の育成 ICTを活用した食に関する指導法 ICTを活用した子供の支援</p> <p>情報機器の操作 情報機器の活用に関する理論及び方法 ICTを活用した校務の推進</p>	<p>情報活用能力の育成 ICTを活用した食に関する指導法 ICTを活用した子供の支援</p> <p>情報機器の操作 情報機器の活用に関する理論及び方法 ICTを活用した校務の推進</p>	<p>○ICTが学校教育を支える基本的なツールとして必要不可欠なことを理解し、教育や学校給食の管理に係るデータの蓄積・分析・利活用等を通して、校務の効率化を進めている。</p>	<p>学校におけるICT活用の意義を理解し、食に関する指導にICTを効果的に活用するとともに、子供の情報活用能力(情報モラルを含む)を育成するための取組を実践している。</p> <p>ICTが学校教育を支える基本的なツールとして必要不可欠なことを理解し、教育や学校給食の管理に係るデータの蓄積・分析・利活用等を通して、校務の効率化を進めている。</p>	<p>豊かな人間性や人権意識を持ち、他の教職員や子供、保護者、地域住民等と、自らの意見も効果的に伝えつつ、円滑なコミュニケーションを取り、良好な人間関係を構築している。</p> <p>教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて探求心を持ちつつ自律的かつ継続的に新しい知識・技能を学び続けている。</p> <p>教育に関し、社会的・制度的事項やその意義、歴史等について理解するとともに、最新の動向に関し情報を収集している。</p> <p>各教科等においてそれぞれの特質に応じた見方・考え方を働かせながら、当該教科の目標や内容を身に付けさせることを第一義的に考え、その過程に食育の視点を位置付け、目標がよりよく達成されるための専門的知識を身に付けている。</p> <p>心身の健全な発達に資する学校給食について、子供たちが食事に関心を持ち、食に関する正しい理解と適切な判断力を養うために計画的・継続的な指導を実践している。</p> <p>栄養学等の専門的知識に基づき、偏食や肥満・痩身、食物アレルギー、運動、食行動の問題など食に関する健康課題を有する子供に対して、関係する教職員や専門職、保護者と連携して個別的な相談指導に取り組んでいる。</p> <p>学校給食実施基準の内容を正確に理解し、学校給食摂取基準や食品構成に配慮した献立を作成し、食事内容の充実に努め、適切に栄養管理をするとともに、教職員との連携や家庭への情報発信により、日常又は将来の食生活全体の改善を促している。</p> <p>学校給食衛生管理基準の内容を正確に理解し、衛生管理責任者として、安全な給食の実施のために、衛生管理に関する共通理解を図るとともに、適切な管理及び指導・助言を行い調理員や教職員等と連携を図っている。</p>	<p>○ICTが学校教育を支える基本的なツールとして必要不可欠なことを理解し、教育や学校給食の管理に係るデータの蓄積・分析・利活用等を通して、校務の効率化を進めている。</p>

栄養教諭の資質向上に関する指標

< 6つの柱 >

- A 教職に必要な素養
- B 専門領域に関する資質能力
- C 生徒指導等に関する実践的指導力
- D チーム学校を支える資質能力
- E 特別な配慮や支援を必要とする子供への対応
- F ICTや情報・教育データの利活用等

< 構成要素 >

- 1 使命感 責任感 教育的愛情
高い倫理観 コンプライアンス
服務規律の遵守
- 2 社会性 コミュニケーション能力
- 3 社会の変化への対応 広い視野
学び続ける意欲
- 4 教職に関する教養
- 5 教科等における食に関する指導
- 6 給食時間における食に関する指導
- 7 個別的な相談指導
- 8 栄養管理
- 9 衛生管理
- 10 子供の発達過程や特徴の理解と
信頼関係の構築
教育相談及び生徒指導 個別指導
- 11 人権教育の推進 生徒指導上の課題への対応
- 12 教育課程の管理・運用
- 13 校務分掌と連携・調整
- 14 家庭や地域、関係機関等との連携・協働
- 15 研修（研究）体制
- 16 特別な配慮や支援を必要とする子供の理解
- 17 学習上・生活上の支援
- 18 食に関する指導におけるICT利活用
- 19 ICTによる校務効率化

千葉県・千葉市教員等育成指標～信頼される質の高い教員等の育成を目指して～				
栄養教諭の資質向上に関する指標				
六つの柱	構成要素	養成段階	「段階」I Ⅰ期 基礎知識・専門知識の習得と実践力の向上	
A 教職に必要な素養	1 使命感 責任感 教育的愛情 高い倫理観 コンプライアンス 服務規律の遵守	1 教育活動の意欲 2 倫理観 3 責任感 4 社会的規範	1 教育活動の意欲 2 倫理観 3 責任感 4 社会的規範	
	B 専門領域に関する資質能力	5 教科等における食に関する指導	5 食に関する基礎知識 6 食に関する実践的指導力	5 食に関する基礎知識 6 食に関する実践的指導力
		6 給食時間における食に関する指導	7 給食時間における食に関する指導	7 給食時間における食に関する指導
		7 個別的な相談指導	8 個別相談指導	8 個別相談指導
	C 生徒指導等に関する実践的指導力	8 教育相談及び生徒指導 個別指導	9 教育相談及び生徒指導 個別指導	9 教育相談及び生徒指導 個別指導
		9 特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	10 特別な配慮や支援を必要とする子供の理解	10 特別な配慮や支援を必要とする子供の理解
		10 子供の発達過程や特徴の理解と 信頼関係の構築 教育相談及び生徒指導 個別指導	11 子供の発達過程や特徴の理解と 信頼関係の構築 教育相談及び生徒指導 個別指導	11 子供の発達過程や特徴の理解と 信頼関係の構築 教育相談及び生徒指導 個別指導
	D チーム学校を支える資質能力	11 人権教育の推進 生徒指導上の課題への対応	12 人権教育の推進 生徒指導上の課題への対応	12 人権教育の推進 生徒指導上の課題への対応
		12 教育課程の管理・運用	13 教育課程の管理・運用	13 教育課程の管理・運用
		13 校務分掌と連携・調整	14 校務分掌と連携・調整	14 校務分掌と連携・調整
E 特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	14 家庭や地域、関係機関等との連携・協働	15 家庭や地域、関係機関等との連携・協働	15 家庭や地域、関係機関等との連携・協働	
	15 研修（研究）体制	16 研修（研究）体制	16 研修（研究）体制	
	16 特別な配慮や支援を必要とする子供の理解	17 特別な配慮や支援を必要とする子供の理解	17 特別な配慮や支援を必要とする子供の理解	
F ICTや情報・教育データの利活用等	17 学習上・生活上の支援	18 学習上・生活上の支援	18 学習上・生活上の支援	
	18 食に関する指導におけるICT利活用	19 食に関する指導におけるICT利活用	19 食に関する指導におけるICT利活用	
	19 ICTによる校務効率化	20 ICTによる校務効率化	20 ICTによる校務効率化	
			「段階」II Ⅱ期 実践力の向上 「段階」III Ⅲ期 実践力の向上	

栄養教諭2年目研修

提出書類一覧〔県立学校所属者〕

① 対象者の報告

- (1) 対象者は、全国教員研修プラットフォームPlantで申込む。
 (2) 校長は、Plantで対象者を確認後、承認する。

② 校内研修年間計画書の提出〔第1号様式〕

作成者	提出先
◆県立学校長◆	県教育庁保健体育課長
令和8年6月5日(金)まで	

③ 校内研修年間報告書の提出〔第2号様式〕

作成者	提出先
◆県立学校長◆	県教育庁保健体育課長
令和9年2月26日(金)まで	

※県教育庁提出先 保健体育課担当宛て (kykyushoku@mz.pref.chiba.lg.jp)

※様式は千葉県HPより「栄養教諭2年目 研修」で検索、ダウンロードしてください。

提出書類一覧〔市町村立学校所属者〕

① 対象者の報告

- (1) 対象者は、全国教員研修プラットフォームPlantで申込む。
- (2) 校長は、Plantで対象者を確認後、承認する。
- (3) 市町村教育委員会は、対象者を確認後、承認する。
- (4) 千葉県教育委員会で最終承認し、教育事務所に報告する。

② 校内研修年間計画書の提出〔第1号様式〕

作成者	提出先		
◆市町村立学校長◆	市町村教育委員会	教育事務所	県教育庁保健体育課長
令和8年5月15日(金)まで	令和8年5月22日(金)まで	令和8年6月5日(金)まで	
◆千葉市立学校長◆	千葉市教育委員会		
令和8年5月22日(金)まで	令和8年6月5日(金)まで		

③ 校内研修年間報告書の提出〔第2号様式〕

作成者	提出先		
◆市町村立学校長◆	市町村教育委員会	教育事務所	県教育庁保健体育課長
令和9年2月5日(金)まで	令和9年2月12日(金)まで	令和9年2月26日(金)まで	
◆千葉市立学校長◆	千葉市教育委員会		
令和9年2月12日(金)まで	令和9年2月26日(金)まで		

※県教育庁提出先 保健体育課担当宛て (kykyushoku@mz.pref.chiba.lg.jp)

※様式は千葉県HPより「栄養教諭2年目 研修」で検索、ダウンロードしてください。

年度 校内研修年間計画書

学校名

学校

対象者氏名

回	月／日 (曜)	担当者					領 域	主 な 指 導 方 法	研 修 時 間	主 な 研 修 内 容
		校 長	副 校 長	教 頭	主 幹 教 諭	他 の 教 員				

- 1 校内研修5時間以上（授業研修1回を含む）で計画を立てること。
- 2 領域の欄には栄養教諭の資質向上に関する指標に基づき以下のAからFに分けて記入する。
 A「教職に必要な素養」 B「専門領域に関する資質能力」
 C「生徒指導に関する実践的指導力」 D「チーム学校を支える資質能力」
 E「特別な配慮や支援を必要とする子供への対応」 F「ICTや情報・教育データの利活用」
※校外研修にない構成要素については、校内研修で実施すること。
- 3 主な研修内容で、Bに係る内容は「専門領域に関する資質能力」参考事例に従って記入する。
- 4 主な指導方法の欄には、「講話」「講義」「協議」「授業研究」「実習」等の区分を記入する。
- 5 他の教員の欄には教務主任（教主）給食主任（給主）などを記入する。

年度 校内研修年間計画書(記入例)

学校名

学校

対象者氏名

回	月/日 (曜)	担当者					領 域	主 な 指 導 方 法	研 修 時 間	主 な 研 修 内 容
		校 長	副 校 長	教 頭	主 幹 教 諭	他 の 教 員				
		○					A	講 義	1	・教育課題と教育目標について
					○		D	講 義	1	・教育課程の編成・実施・評価 ・教育課程と健康教育
		○		○	○	養護 教諭	B F	実 習	1	・個別相談指導の進め方の共通理解 ・個別相談指導におけるスクリーニング条件の検討
				○			C	講 義	1	・学校における教育相談活動のあり方
						教 主	D	授 業 研 究	1	・実際の授業の進め方(○○科授業参観)
				○			E	講 義	1	・特別支援学級の児童生徒への対応について
							A D	授 業 研 修	1	【教科等における食に関する指導】 ・家庭科「こんだてを工夫して」(6年生)

- 1 校内研修5時間以上(授業研修1回を含む)で計画を立てること。
- 2 領域の欄には栄養教諭の資質向上に関する指標に基づき以下のAからFに分けて記入する。
 A「教職に必要な素養」 B「専門領域に関する資質能力」
 C「生徒指導に関する実践的指導力」 D「チーム学校を支える資質能力」
 E「特別な配慮や支援を必要とする子供への対応」 F「ICTや情報・教育データの利活用」
※校外研修にない構成要素については、校内研修で実施すること。
- 3 主な研修内容で、Bに係る内容は「専門領域に関する資質能力」参考事例に従って記入する。
- 4 主な指導方法の欄には、「講話」「講義」「協議」「授業研究」「実習」等の区分を記入する。
- 5 他の教員の欄には教務主任(教主) 給食主任(給主)などを記入する。

年度 校内研修年間報告書

学校名

学校

対象者氏名

回	月/日 (曜)	担当者					領 域	主 な 指 導 方 法	研 修 時 間	主 な 研 修 内 容	感想 改善点 よかった点 意見等
		校 長	副 校 長	教 頭	主 幹 教 諭	他 の 教 員					

- 1 校内研修5時間以上（授業研修1回を含む）で計画を立てること。
- 2 領域の欄には栄養教諭の資質向上に関する指標に基づき以下のAからFに分けて記入する。
 A「教職に必要な素養」 B「専門領域に関する資質能力」
 C「生徒指導に関する実践的指導力」 D「チーム学校を支える資質能力」
 E「特別な配慮や支援を必要とする子供への対応」 F「ICTや情報・教育データの利活用」
※校外研修にない構成要素については、校内研修で実施すること。
- 3 主な研修内容で、Bに係る内容は「専門領域に関する資質能力」参考事例に従って記入する。
- 4 主な指導方法の欄には、「講話」「講義」「協議」「授業研究」「実習」等の区分を記入する。
- 5 他の教員の欄には教務主任（教主）給食主任（給主）などを記入する。

「専門領域に関する資質能力」参考事例（栄養教諭）

項 目	研 修 内 容
教科等における食に関する指導	<ul style="list-style-type: none"> ◎☆指導案の作成と指導のすすめ方 ◎☆食に関する授業の実際 (関係市町村指導主事等を講師として実施する。) ◎各教科等における食育指導の実践内容の考察 ◎夏休み中の食生活指導 ☆近隣の学校の授業参観 ◎☆学校・家庭・地域と連携した栄養指導
給食の時間における食に関する指導	<ul style="list-style-type: none"> ◎給食時間における給食指導の実際 ◎地産地消について食育指導 ◎生産者について食育指導 ◎栄養価について食育指導 ◎お箸の持ち方や配膳等マナーについて指導 ☆ I C T の活用による食育指導の実践
個別的な相談指導	<ul style="list-style-type: none"> ◎栄養学等の専門的知識の修得 ◎個別指導における対象者の調査研究 ◎対象者の目標設定計画 ◎個別指導における校内体制の構築 ◎学校医や保護者と連携して実施
栄養管理	<ul style="list-style-type: none"> ◎献立計画の作成 ◎献立作成及び関連事務管理 ◎望ましい食事のあり方 ◎児童生徒の食事内容の調査研究 ◎☆給食試食会等の計画立案・運営 ◎食材の研修と管理 ◎物資管理の実際 ◎物資関係文書の作成と整理 ☆ I C T の活用による各種調査の実践
衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> ◎検食・保存食の管理 ◎日常及び定期点検の実際 ◎衛生管理体制 ◎調理現場における衛生管理のあり方 ◎長期休業中における作業管理のあり方 ◎調理員に対する指導の実際 ◎衛生的な調理指導のポイント ☆ I C T の活用による各種調査の実践

◎・・・専門的な内容のため、自主研修を可とする内容

☆・・・校内組織で研修・指導できる内容

栄養教諭2年目研修について

1 校外研修(2日)について

- (1) 「別紙1」のとおりとする。

2 校内研修(5時間以上)について

- (1) 課題研究研修計画書〔様式1〕の作成

※詳細は6参照

栄養教諭として食育を推進する上で、地域や学校、児童生徒の実態に応じた課題からテーマを決め、研究を進めるための計画を作成する。

- (2) 授業研修（1回以上）

※詳細は7参照

「教科等による食に関する指導」の指導案〔様式3〕を作成し、授業展開（45～50分）で授業実践を行う。授業展開する教科等、内容、日程の調整・決定については、所属校の管理職、教務主任、T・Tで行う学級担任等と協議し、教育課程等を考慮して決定することとする。

- (3) 課題研究研修報告書〔様式2〕の作成と発表準備

※詳細は8参照

課題研究研修計画書〔様式1〕に則った実践について作成し、発表（第2回校外研修）のための準備をする。

3 欠席・遅刻等の報告について

- ・やむを得ず欠席する場合は、県HPから「研修の欠席について（報告）」をダウンロードし、記載されている報告方法に従って提出する。当日等、急な欠席の場合は、所属長等の管理職が保健体育課へ電話等で報告し、後日提出する。
- ・遅刻早退の場合も「欠席」を「遅刻」または「早退」と読みかえて提出する。

4 県総合教育センターでの研修について

- ・服装は、正装を基本とする。
- ・各自、名札を持参し、着用する（所属校等で使用している名札）。
- ・原則公共の交通機関を利用する。

5 提出資料一覧(*様式1~3は、県HPからダウンロードできます。)

	提出資料	提出期日
(1)	課題研究研修計画書〔様式1〕	令和8年 6月12日(金) ☑メールで提出
(2)	課題研究研修報告書〔様式2〕	令和9年 1月15日(金) ☑メールで提出
(3)	指導案 ※〔様式3〕を <u>参考</u> に作成	令和9年 1月15日(金) ☑メールで提出

※提出する前に、必ず所属長等の確認を受けること。

※提出する際のファイル名→【学校名】様式○(氏名)

〔提出先〕 千葉県教育庁教育振興部保健体育課給食班(担当宛て)

メール: kykyushoku@mz.pref.chiba.lg.jp

6 課題研究研修計画書〔様式1〕の作成について

(1) 研究テーマ

- ・地域や学校、児童生徒の実態に応じた課題等について、何らかの事実や事象(根拠)を明確にした上で、研究テーマを設定する。
- ・学校、家庭、地域との連携や協力を基盤とした取組とすることが望ましい。

(2) 研究テーマ設定の理由

- ・根拠を明確にした上で、設定の理由を記載する。

(3) 研究の目的

- ・課題について、どのような姿を目指すのか明確にする。

(4) 研究仮説

- ・研究の目的を達成するために、どのようにしたらよいと考えるか仮説を立てる。
- ・“〇〇を〇〇したら〇〇(研究の目的)が達成されるだろう”という予測を記載。

(5) 研究計画

- ・いつごろまでに何をするのか、時期や手順を明確にする(表等を用いてもよい)。

(6) 分野と研修テーマの例

例1 栄養教諭が行う個別的な相談指導の充実に関するテーマ

- a. 児童生徒に対する個別指導
- b. 保護者に対する個別指導
- c. 個別相談指導のための体制作り（養護教諭、学校医、主治医等との連携）等
＜評価の視点＞
- a. 児童生徒の意識、行動、体の変化
- b. 保護者の意識、行動の変化
- c. 体制作りによる教職員の意識の変化 等

例2 家庭・地域との連携による食に関する指導の充実に関するテーマ

- a. 家庭との連携を図るための取り組みと食に関する指導の充実
- b. 地域の人との連携（人材活用）と食に関する指導の充実
- c. 地域で育てるネットワーク作りとそれを活用した食に関する指導の充実 等
＜評価の視点＞
- a. 保護者の食に関する指導への協力に対する意識の変化
- b. 授業に生かせる地域の人との連携と児童の地域食文化についての意識の変化
- c. 地域にある各種組織との連絡会議の発足とその組織と連携した食に関する指導による児童の意識の変化 等

例3 食に関する指導の全体計画及び年間指導計画作成のあり方に関するテーマ

- a. 各計画作成のための体制作り
- b. 各計画作成のための考え方（内容、発達段階、到達目標）
＜評価の視点＞
- a. 各計画作成のために必要な体制が明らかになったか
- b. 各計画を作成したときの問題点が明らかになったか
- c. 学級活動における学習内容の設定の仕方が明らかになったか
- d. 学校独自の各学年における到達目標の設定の仕方が明らかになったか 等

例4 共同調理場における栄養教諭のあり方に関するテーマ

- a. 共同調理場と受配校が連携を図るための体制作り
- b. 連携体制を生かした食に関する指導の充実 等
＜評価の視点＞
- a. 連携体制の方法が明らかになったか
- b. 連携体制を生かした食に関する指導による児童、教職員、保護者の意識の変化 等

- ・特別支援学校における食材への親しみを持つ児童の育成について
- ・再調理マニュアルの作成
- ・自分の食生活をデザインする力を育む指導の実践
- ・自らの食生活に関心をもち、よりよい食生活を送ろうとする児童の育成
- ・校内体制を意識した個別的な相談指導の実践
- ・健康な体をつくるため、バランスの良い食事をしようとする生徒の育成
- ・朝食の献立作成を利用した朝食摂取状況を上げる取り組み
- ・学校給食センターの栄養教諭における学校への働きかけについて
- ・栄養教諭の教科等における指導とその効果
- ・ICT機器を導入した食への興味・関心を高める食育活動について

7 教科等による食に関する指導の指導案[様式3]の作成について

- ・各教科及び特別活動、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間等に実施する。
- ・〔様式3〕を参考に、所属校等の指導案の様式で作成してよい。
- ・A4用紙（縦）で2～3ページ程度、フォントサイズは10.5ポイントで作成。

8 課題研究研修報告書(様式2)について

- (1) 研究テーマ、研究テーマ設定の理由、研究の目的、研究仮説
 - ・6(1)～(4)をそのまま記載する。
- (2) 実践
 - ・仮説の検証となる実践について、時期や連携体制、手法を明確にし、具体的な取組内容を記載する。
- (3) 成果と課題
 - ・研究の目的として設定した目指す姿が達成されたか、数値や行動変容等の根拠をもって評価する（仮説をベースにして作成）。
- (4) 考察
 - ・(3)成果と課題から、“この結果は何を意味するのか”について、実態や背景を踏まえて記載する。
- (5) 研究の発表について

第2回校外研修（令和9年1月26日（水））において発表予定。

※当日の発表や持参の方法については、第1回校外研修時に説明する。

様式1

令和○年度 課題研究研修計画書

研究テーマ：

学校名 ○○市町村立○○○学校

氏名 ○○ ○○

1 テーマ設定の理由

2 研究の目的

3 研究仮説

4 研究計画

★A4用紙(縦)1～2ページで作成

★フォントサイズ 12ポイント

└研究テーマのみ14ポイント

★余白 上下左右 25mm

※提出時、この枠は削除すること。

様式2

令和○年度 課題研究研修報告書

研究テーマ：

学校名 ○○市町村立○○○学校

氏名 ○○ ○○

1 テーマ設定の理由

2 研究の目的

3 研究仮説

4 研究計画

5 実践

6 成果と課題

7 考察

★A4用紙(縦)2～6ページで作成
★フォントサイズ 12ポイント
└研究テーマのみ14ポイント
★余白 上下左右 25mm
★写真や表等の資料を貼り付けてもよいが、個人情報特定できないよう留意すること。

※提出時、この枠は削除すること。

様式3 (指導案参考例)

第〇学年〇組 〇〇科学習指導案

〇〇〇立〇〇〇学校

授業日 〇月〇日

指導者 T 1 : 〇年〇組 担任 〇〇 〇〇

T 2 : 栄養教諭 〇〇 〇〇

- 1 単元名 (題材名、主題名)
- 2 単元 (題材、主題) について
 - (1) 教材 (題材) 観 (主題設定の理由)
 - (2) 児童 (生徒) の実態
 - (3) 指導観
- 3 単元 (題材) の目標
- 4 単元 (題材) の評価基準
- 5 指導計画
- 6 本時の指導
 - (1) 本時の目標
 - (2) 食育の視点
 - (3) 本時の展開 (例)

過程	学習活動と内容	指導上の留意点 (☆評価)		資料等
		T 1	T 2	
見いだす	1 〇〇をする	○		・
	2 課題をつかむ			
	(学習課題・問題)			
自分で取り組む			○	
広げ深める		☆		
まとめあげる *表現自由	(まとめ)			

(4) 板書計画